

みなしご通信



助けた子キツネ 新たな家族に

佐賀ハピボの甲斐めぐみから、ちよっとしたラインが来ました。彼女とは長い付き合いで腹がわかるので先回りして準備をしたお蔭でスムーズに事が進みました。そのラインってのが仔犬のような生き物の写真と「これはキツネの子ですか？」だけ(笑) この流れで欲しいの想像をした私は「そうですね：キツネです」と返した後、すぐにうちの者を集め『キツネの子どもを保護しようかなと思っくんじゃがええかのう?』と聞きました。全ての準備が整い、翌朝、子キツネは広島に来ることになりました。



こんなに小さい子がカラスに捕まりつつかれていたのだそう。「仔犬が襲われてる」と思った人がわざわざ車から降りてみるとカラスは空に飛んで逃げ「仔犬」も逃げたんだそう。「仔犬」が逃げた先が側溝で落ち葉に埋もれておりどこにも逃げれずその場で確保：そんな奇跡の出会いから始まり《生きる事が確定した》1匹の子キツネの物語。子キツネはこれからもっともつと生きる方向へ進んでいきます♪翌日には広島の《子育てプロ》の手に。

を使って「授乳します。哺乳類の一生は哺乳から始まります。これがいかに大事なことか！もちろんオシッコも手で出します！」「自分で出せる！」と子どもが言ってもそれを無視して出します。刺激排尿、これがいかにか大事なことか！プロは馴れてくれるまで一緒に寝ます！キツネは警戒心が強い動物なのでプロは警戒心を解くことに全力を注ぎます。眠さえあれば抱きまくります。夜は寝るまでオジサンに抱いてもらいます。『飲むなら抱け！』これが中谷家の家訓です♪



アタチの名前はニツク。アタチのお母さんは昭和の飲み屋の人じゃからアタチのことをニツク・ニューサと呼びます(笑) 体にはたくさんカサブタがあるのでそこらじゅうつつかれたのだと思います。この時期カラスは子育てしてますからどうしても気が荒くなるんで仕方ないことなんです。この程度ですからベストなタイミングで助けてもらっ

来たった4日でロイカナ犬ミルクを飲みながら体重は480gから790gに増え、顔もずいぶんとしつかりしてきました♪

アフラツク0♀2

何十年前前に合鴨農法と言って合鴨の幼鳥を水田に放ち、雑草を食べてもらうと言うパツと聞くと《良さそうな》農法が流行って、広島県の北の町の水田にも小さな合鴨がいました。合鴨って人間が作った鳥だから※カモとアヒルの雑種【自然界に悪影響を及ぼす】とかで野生に放しちゃNGなわけ。そうになると、稲が育ってお役ごめんとなった合鴨たちは食用肉になるしかないらしく、私的には『なんだかなあ』：だけどそれを止める知恵もないので今現在もやり過ごしている状況です。

2013年に長野県佐久市の山の中に合鴨を捨てた奴がいて、飛べない鳥を山の中に放すという事は野生動物に食べられてしまえ！



と言っているようなもの。そこにいた合鴨3羽を保護しました(オス1メス2)。3羽を飼育しているうちにメス1羽が亡くなり19年5月に残っていたメス1羽が亡くなったたらオスの意気消沈具合が激しく、飯も食べなくなつたオスのためにメスを飼うしかないと思いい2ヶ所に声掛けして2羽のメスを飼うことに。そしてたら前日まで「もうオレは死ぬ」と言っていたオスがガゼン元気になつちやつて(笑) オジサンアフラックは2羽の若いメスに囲まれ2年ほど元気に生き昨春夭寿を全うしました。オスが亡くなって早くも

1年が経ちましたがメスたちは「さすが！」オスが亡くなった日から今日まで《普通に》元気に過ごしてあります。そんなこんなを見ていたら鳥の世界も人間界となんも変わらないのうと思つております(笑) レタス1玉・鶏のエサ・ロイカナフードを水に浮かせて用意したらレタスだけは午前中には食べきります。そして2日おきぐらいにミミ○数匹も食べています。食べたなら寝ます。夕方まで外に居て夕方になるとハウスに戻ります。

秋から春にかけては休卵日以外は毎日卵を1つ産みます。オスがいないので無精卵です。合鴨の卵は鶏卵より二回りぐらい大きく濃厚でとつても美味しいので最初の頃は私たち人間が食べていましたが、キツネが持ち帰るのを目撃してからは私たち人間がいたくのはやめました。それはそれは上手に持つて帰るんですよ。人間はスーパ―に行けばタマゴを買えますから、うち

急きよお花見

のアフラックたちが産んだ卵は近所のキツネたちにおすそ分けしてえかろうと思つてお花見です♪

犬猫みなしご救援隊の保護施設内には行き場を失つたたくさんの子たちが《普通に》生活しているのので、365日盆も正月も日曜も祭日もすべてが日常、休みなんてものは一切ございせん。なのでうちの従業員たちは各自の公休日以外は当たり前のように《普通に》朝から働いてくれています。それに対して私からの感謝の気持ちを表そうと、いつものマカナイ食をお弁当チツクにしてうちの裏庭で(笑) みんなで楽しくいただきます。朝一番でその計画を発表したので単純なうちの者たちは「ピクニック♪」とテンションアゲアゲ。裏庭ですけど(笑) 4月なので日差しが強くて暑かったので桜の木の下を選びました。犬猫みなしご救援隊らしくケージがテーブルで敷



物は新聞紙です。★鳥手羽元のから揚げ★ベーコン焼き★出汁入り玉子焼き★ちくわ平天ごぼう天などねりもの七味唐辛子炒め★ウインナー★淡路島特産・新玉ねぎのチーズ乗せ★残り物のひじきの煮物をご飯に混ぜ鮭・焼きたらこ・南高梅を入れ有明海苔で巻いた山賊むすび》：茶色いお弁当にしました(笑) いつもは食後の甘い物が出るけどうっかり忘れた：取りに戻るのも面倒なので諦めました。ヨシー次はおやつも持つて出ようね♪

本紙は中谷百里代表ブログ「みなしご庵へようこそ」の記事を抜粋したものです。

NPO法人(特定非営利活動法人)
犬猫みなしご救援隊
www.minashigo.jp

犬猫みなしご救援隊
〒731-0234
広島県広島市安佐北区可部町大字今井田690-2
TEL : 082-812-3745 FAX : 082-815-2711

みなしご通信のバックナンバーは、公式ページ
(http://www.minashigo.jp/newpaper/index.html)に掲載しております。

スマホをかざすだけで募金ができる

かざして募金

JAPAN GIVING

ソフトバンクの「かざして募金」、ジャパングIVINGで寄付ができます。
(https://japangiving.jp/supports/1281) 皆さまからのご支援、よろしくお願いたします。